

# 大会報告書

## 「青少年のための科学の祭典」第23回松山大会報告書

- 主催 青少年のための科学の祭典松山大会実行委員会  
公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館
- 後援 文部科学省、愛媛県教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、松山市教育委員会、  
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団、愛媛県 PTA 連合会、愛媛県高等学校 PTA 連合会、  
愛媛県教育研究協議会、愛媛県高等学校教育研究会、**NHK**、全国科学館連携協議会、  
全国科学博物館協議会、日本物理教育学会、一般社団法人日本生物教育学会、日本地学教育学会、  
日本基礎化学教育学会、一般社団法人日本科学教育学会、一般社団法人日本理科教育学会、  
一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本生物物理学会、一般社団法人日本物理学会、  
公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、  
公益社団法人日本アイソトープ協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、  
一般財団法人日本私学教育研究所、公益社団法人日本植物学会、公益社団法人日本動物学会、  
公益社団法人日本天文学会、公益社団法人日本工学会、一般社団法人電気学会、  
日本エネルギー環境教育学会
- 協賛 四国電力（株）、（株）伊予銀行、（株）愛媛銀行、愛媛信用金庫、井関農機（株）、  
パナソニックヘルスケア（株）
- (協力) 愛媛県学校生活協同組合連合会、松山市教育用品(有)、愛媛新聞社、四国ガス（株）、  
米山工業（株）、コスモ松山石油（株）、大和教材（株）、（株）シマダジムキ、  
（株）松山堂書店、富士教材（有）、盛重図書教材（有）、（有）三共理科、  
（株）猪原商会松山営業所
- (助成) 子どもゆめ基金助成活動  
公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部
- 会場 松山市総合コミュニティセンターこども館（〒791-0012 松山市湊町7丁目5番地）
- 開催日時 平成29年11月4日（土）～11月5日（日）の2日間 両日とも9:30～16:00開催
- 来場者数 11月 4日 2,522 人  
11月 5日 2,922 人
- 出展数 41出展
- 出展タイトル一覧
  - 1 手回し発電機で電気を作ろう
  - 2 安定なつりあい・不安定なつりあい
  - 3 超低温の世界
  - 4 全天周デジタル番組
  - 5 くじらの潮吹きおもちゃ
  - 6 ふよふよたまご
  - 7 紙コップ空気砲
  - 8 不思議！どこでもとまる紙の虫
  - 9 岩石標本をつくろう
  - 10 顕微鏡で小さな生物を観察しよう
  - 11 こすってまわそう！
  - 12 水素ロケットを飛ばそう
  - 13 カラフルスライムをつくろう
  - 14 PETボトルラベルのしおり作り
  - 15 プラ板でつくるアクセサリー
  - 16 コケ玉テラリウムを作ろう！
  - 17 顕微鏡で見る世界！！
  - 18 放射線ってなに？
  - 19 オリジナルストラップを作ろう！
  - 20 こまの不思議
- C いろいろな実験工作Ⅱ（テーマごとにブースを設けて実験観察をしたり、工作したりする）
  - 21 いろいろな羽根つき折り紙箱を作ろう

- 22 不思議な折り紙
- 23 カメラの中を探検しよう
- 24 プログラミングを体験しよう！
- 25 Cockleburダーツ
- 26 顕微鏡写真を撮ってみよう！
- 27 目玉をつくろう
- 28 ピコピコカプセルで遊ぼう！
- 29 ジュエルソープをつくろう！
- 30 不思議な壁

D 科学工作教室（約1時間かけて行う電子工作や普通の工作。人数制限がある）

- 31 タイヤがないのにスーッと動く車
- 32 虹色ホログラム万華鏡
- 33 魔法と化学の世界へようこそ
- 34 おつまみ点滅回路を作ろう
- 35 雨降り検知器を作ろう
- 36 充電して走る自動車を作ろう

E 中学生・高校生のためのサイエンス

- 37 視覚などの身体感覚について科学しよう！
- 38 磁気と電気の協力現象
- 39 VRで石鎚山のバイオームを体験しよう
- 40 身近な自然や生物の研究方法

F 特別コーナー（宇宙教室）（愛媛の宇宙教育リーダーによる宇宙教室）

- 41 コズミックカレッジ

■製作物 ・実験解説集：B5版／表紙若草色を主として6色・中1色（表紙6色・中1色）

ページ数58／製作部数：2,100部

・ポスター：A3版／6色／製作部数：210枚

・チラシ：A4版／表紙6色、裏1色／製作部数：53,000枚

■広報活動

小学生向けチラシは管内の松山市を中心とするすべての小学校に、児童全員に行きわたるように配布した。また、会場となる松山市総合コミュニティセンターにはチラシを置き、来館者に自由に取ってもらい、ポスターも掲示した。中・高校生向けのチラシは、管内の松山市・東温市・伊予市などを中心とするすべての中・高等学校に、100枚～200枚ずつ配布した。また、公民館・図書館・博物館にも100枚ずつ配布した。ポスターは、松山市を中心とするすべての小・中・高等学校・公民館等に1～2枚ずつ配布した。

新聞・テレビ・ラジオ等には科学の祭典当日の3週間前にチラシをつけて報道依頼をした。その結果、テレビ愛媛で11月3日に番組名「つながるワイドほーなん」で約30秒間事前報道された。

また、愛媛CATVで11月4日夕刻7:00～のニュース番組の中で、大会の様子が報道された。

新聞では、愛媛新聞の11月5日付に、大会の予告記事が掲載された。

会場の松山市総合コミュニティセンターこども館に、10月4日～大会終了日まで懸垂幕を設置した。

